



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月27日

上場会社名 株式会社シマノ 上場取引所 東
 コード番号 7309 URL https://www.shimano.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島野 容三
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長兼経理部管掌 (氏名) 金井 琢磨 (TEL) 072-223-3254
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	264,174	△2.0	54,300	7.7	58,678	5.7	47,231	10.4
2019年12月期第3四半期	269,523	6.1	50,394	5.4	55,500	1.2	42,799	7.0

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 34,171百万円(17.6%) 2019年12月期第3四半期 29,049百万円(△12.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	509.51	—
2019年12月期第3四半期	461.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	561,848	509,018	90.6
2019年12月期	538,769	489,236	90.8

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 508,851百万円 2019年12月期 489,084百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	77.50	—	77.50	155.00
2020年12月期	—	77.50	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	77.50	155.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	370,000	1.9	77,000	13.2	81,700	17.6	64,300	24.1	693.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年12月期 3 Q	92,720,000株	2019年12月期	92,720,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期 3 Q	20,001株	2019年12月期	19,272株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年12月期 3 Q	92,700,426株	2019年12月期 3 Q	92,701,262株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に対する仮定を前提としております。従って、実際の業績は内外の状況変化により異なる結果となる場合がありますのでご承知おき下さい。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページを参照して下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、世界的な新型コロナウイルス感染拡大により、経済活動は大きな制約を受けることとなりました。欧州では、夏のバカンスシーズンを前に、ロックダウン等の規制が緩められたものの、感染終息が見えない中、景気の先行きに対する懸念も強く、消費者マインドは低調なままの推移となりました。米国では、一時的に回復の気配を見せた経済指標は、本格的な回復基調に転ずることはなく、横這いの推移となりました。日本では、外出自粛要請に伴い景気は後退し、要請解除後に持ち直しつつあった個人消費は、感染再拡大への懸念から鈍い動きとなり、景気回復の足取りは重いままの状況となりました。

このような景況ではあったものの、当第3四半期連結累計期間における売上高は264,174百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は54,300百万円（前年同期比7.7%増）、経常利益は58,678百万円（前年同期比5.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は47,231百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 自転車部品

新型コロナウイルスの拡がりにより企業をはじめ人々の活動が制限される中、手軽なレクリエーション、エクササイズ、かつ感染リスクの低い交通手段として、春先より全世界的に自転車への需要が急速に高まりました。また欧州を中心に、自転車の購入、利用を後押しする補助金の支給やバイクレーンなどのインフラ整備政策が、サイクリングブームの追い風となりました。

このような状況の下、欧州市場、北米市場や中国市場などの海外市場では、自転車および自転車関連商品の店頭販売は急激に回復し、好調さを見せました。急速な需要に供給が追いつかない状況が続いたこともあり、各国の市場在庫は不足する傾向となりました。

日本市場では、大きなサイクリングブームの兆しは見られなかったものの、レクリエーションや交通手段を目的としたクロスバイクや電動アシスト軽快車の店頭販売は堅調に推移し、市場在庫は概ね適正水準で推移しました。

このような市況のもと、マウンテンバイクコンポーネントの新型「Deore」は引き続き市場より高い評価を得ました。

この結果、当セグメントの売上高は204,499百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益は44,131百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

② 釣具

新型コロナウイルス感染防止のため、多くの国で外出が規制され釣具の販売に影響が出ましたが、規制緩和後はアウトドアレジャーとしての釣りが再評価され、釣具への需要も高まりました。

このような状況の下、日本市場では、緊急事態宣言の解除後、アウトドアレジャーとして釣りに注目が集まりました。その結果、ファミリー層を中心とした新規参入者が増加し、特に中級・普及価格帯製品の販売が好調となりました。

海外市場では、急激な釣具需要の高まりを追い風とした北米市場における中高価格帯製品に対する需要の伸長、欧州市場においては主要市場である英国やイタリアでの力強い需要もあり両市場ともに販売は好調に推移しました。アジア市場においては東南アジア諸国で販売回復の傾向が見られ、豪州市場においては一部の州で新型コロナウイルス第2波に伴うロックダウンもありましたが販売は緩やかに回復しました。

このような市況のもと、新製品に対する注文は好調であり、ハイパワーXを搭載したロッド「ZODIAS」、スピニングリールの「VANFORD」や「SARAGOSA SW」は市場から好評を得ました。

この結果、当セグメントの売上高は59,425百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は10,263百万円（前年同期比22.3%増）となりました。

③ その他

当セグメントの売上高は248百万円（前年同期比7.5%減）、営業損失は95百万円（前年同期は営業損失61百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は561,848百万円（前連結会計年度比23,078百万円の増加）となりました。これは、現金及び預金が23,566百万円、建物及び構築物が14,466百万円それぞれ増加し、建設仮勘定が7,061百万円、受取手形及び売掛金が4,438百万円、商品及び製品が3,025百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

負債合計は52,829百万円（前連結会計年度比3,296百万円の増加）となりました。これは、流動負債のその他が3,307百万円増加したこと等によるものです。

純資産合計は509,018百万円（前連結会計年度比19,782百万円の増加）となりました。これは、利益剰余金が32,862百万円増加し、為替換算調整勘定が12,344百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大により人々の活動が制限される中、手軽なエクササイズかつ感染リスクの低い交通手段として自転車の活用が進んだこと、アウトドアレジャーとしての釣りが注目され、釣り人気の高まりから需要が拡大したこと、また当第3四半期連結累計期間において、アジア通貨高の影響から営業外収益が減少したこと等を踏まえ、次のとおり変更いたします。

2020年12月期 通期連結業績予想数値の変更（2020年1月1日～2020年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	350,000	63,500	71,800	58,300	628.91
今回修正予想 (B)	370,000	77,000	81,700	64,300	693.63
増減額 (B-A)	20,000	13,500	9,900	6,000	
増減率 (%)	5.7	21.3	13.8	10.3	
前期実績 (2019年12月期)	363,230	68,010	69,471	51,833	559.15

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	270,070	293,636
受取手形及び売掛金	36,192	31,753
商品及び製品	39,904	36,878
仕掛品	23,874	25,534
原材料及び貯蔵品	5,156	5,341
その他	6,336	5,152
貸倒引当金	△345	△485
流動資産合計	381,189	397,811
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	55,211	69,678
機械装置及び運搬具(純額)	21,615	20,255
土地	13,575	13,480
リース資産(純額)	3,239	3,775
建設仮勘定	25,457	18,396
その他(純額)	5,612	5,117
有形固定資産合計	124,712	130,703
無形固定資産		
のれん	3,886	3,636
ソフトウェア	5,562	5,210
その他	4,160	6,030
無形固定資産合計	13,610	14,876
投資その他の資産		
投資有価証券	12,328	11,813
繰延税金資産	5,337	5,267
その他	2,147	1,900
貸倒引当金	△555	△524
投資その他の資産合計	19,257	18,456
固定資産合計	157,580	164,037
資産合計	538,769	561,848

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,529	15,198
短期借入金	3,167	116
未払法人税等	7,046	7,305
賞与引当金	2,183	2,888
役員賞与引当金	161	115
火災損失引当金	10	—
その他	17,501	20,809
流動負債合計	43,599	46,432
固定負債		
長期借入金	1	0
繰延税金負債	1,005	996
退職給付に係る負債	3,220	3,301
その他	1,706	2,097
固定負債合計	5,933	6,396
負債合計	49,533	52,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,613	35,613
資本剰余金	5,642	5,642
利益剰余金	448,941	481,804
自己株式	△135	△150
株主資本合計	490,061	522,909
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,687	1,950
為替換算調整勘定	△3,663	△16,008
その他の包括利益累計額合計	△976	△14,057
非支配株主持分	151	167
純資産合計	489,236	509,018
負債純資産合計	538,769	561,848

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	269,523	264,174
売上原価	164,452	158,873
売上総利益	105,070	105,300
販売費及び一般管理費	54,675	50,999
営業利益	50,394	54,300
営業外収益		
受取利息	3,110	1,802
受取配当金	461	311
為替差益	2,203	3,578
その他	669	490
営業外収益合計	6,445	6,184
営業外費用		
支払利息	73	84
寄付金	826	856
固定資産除却損	191	490
その他	249	374
営業外費用合計	1,340	1,805
経常利益	55,500	58,678
特別利益		
固定資産売却益	2,576	—
受取保険金	—	3,619
特別利益合計	2,576	3,619
特別損失		
工場建替関連費用	89	135
火災損失	433	—
特別損失合計	522	135
税金等調整前四半期純利益	57,554	62,163
法人税、住民税及び事業税	13,564	14,390
法人税等調整額	1,178	503
法人税等合計	14,743	14,894
四半期純利益	42,811	47,268
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	42,799	47,231

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	42,811	47,268
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△203	△736
為替換算調整勘定	△13,558	△12,360
その他の包括利益合計	△13,761	△13,097
四半期包括利益	29,049	34,171
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,044	34,153
非支配株主に係る四半期包括利益	4	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	212,640	56,613	268	269,523	—	269,523
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	212,640	56,613	268	269,523	—	269,523
セグメント利益又は損失(△)	42,066	8,389	△61	50,394	—	50,394

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	204,499	59,425	248	264,174	—	264,174
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	204,499	59,425	248	264,174	—	264,174
セグメント利益又は損失(△)	44,131	10,263	△95	54,300	—	54,300

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。